

英語名詞の複数形について

勝 村 満

はじめに

本試論では英語の複数形について、その意味と用法とを日本人の立場一名詞に数量概念を表現する形式を持たない日本人の立場一から解明しようと試みたものである。

従来この方面でも幾多の研究がなされているが、それらはいずれも syntax との関連においてなされたものが多く morphology の観点からこれを取扱った研究物が少きやに思われるので本試論では特に名詞の number を表わす語形変化を持たない日本人の立場から、ここに焦点をあてて試論を進めることにしたものである。

しかしその研究範囲はきわめて広範多岐にわたるので紙数の関係からここではその第1段階として複数名詞の分類の項だけを取上げることにする。

なお当然冒頭に述ぶべきは必ずである「日本人の数の概念と日本語について」も同様な理由で省略する。

1. 英語名詞の取扱い方の現状とそれについての若干の考察

1.1 名詞の分類

従来英語の名詞の分類はいわゆる学校文典に代表される如く、その意味によって5種類 (common, collective, material, abstract, proper) に分類されてきた。ところでこの分類は一般にわかりやすく且つ実用的ではあるが必ずしも合理的ではなかったので、その後何人かの学者がその修正を試みた。次はその代表的なものである。

(a) Sweet (N. E. G. § 150 ff)

noun	{	concrete n.	{	common n.	{	class n.	{	individual n.

(b) Nesfield (Eng. Gram. BK. IV, p. 12)

noun	{	concrete n.	{	proper n.
abstract n.	{	abstract n.	{	collective n.
				material n.

英語名詞の複数形について

(c) Curme (College Eng. Gram., § 4)

noun { common n. { material n.
collective n.
abstract n.
proper n.

(d) Wyld (Elementary Lessons in Eng. Gram., p. 59)

noun { common n. { concrete n.
proper n. { abstract n.

(e) Kruisinga (Handbook § 795 ff)

noun { class n. { individual class-n.
individual collective n.
non-class n. { collective n.
material n.
abstract n.

(f) Jespersen (Philosophy pp. 188 ff.; M. E. G. II, 5. 211)

noun { thing-word { common name
proper name
collective
mass-word { material mass-word
immaterial mass-word

(g) Palmer (A Gram. of Spok. Eng. § 66)

noun { noun of discontinuous quantity
noun of continuous quantity

(h) Grattan & Curray (Our Living Language, p. 114)

noun { number-noun
individual-noun
vague-quantity-noun

以上でわかるとおり名詞の分類にはその意味内容を基準にするものと文法形式(特に number)に基準をおくものと2つのグループがある。上例でいえば Sweet, Nesfield, Wyld, Curme が前者で Kruisinga, Jepsersen, Palmer, Grattan & Curray が後者に属する。文法の歴史的発展の方向としては、意味内容という漠然とした主観的な基準時代から客観的な文法形式に立脚する科学文法時代へと進んで来た。その先鞭をつけたのが Jespersen である。彼は名詞の属性である number を基準としてこれを分類し countables と uncountables とした。その後の文法家は殆んどがこれに準拠している。

1.2 英語における数量の概念とその表現形式について

英語の名詞を number を基準として分類し countable を thing-word, uncountable を mass-word として次にそれらの数量関係を図示してみよう。

英語名詞の複数形について

		sg.		pl.	
		thing-word	mass-word	thing-word	
				part	whole
Limited	Indefinite	① a (=any) dog ② a (=one) dog	⑨ some wine	③ some dogs	④ all dogs
	Definite	⑤ the dog	⑩ the wine	⑥ the dogs	⑦ all the dogs
Unlimited			⑪ wine	⑧ dogs	

- ① A dog is a faithful animal.
- ② I see a dog running across the garden.
- ③ There are some dogs in the garden.
- ④ All dogs are faithful animals.
- ⑤ The dog in the garden is my neighbour's.
- ⑥ The dogs in the garden are all foreignborn.
- ⑦ All the dogs displayed in the dog-show are terriers.
- ⑧ Dogs are faithful animals.
- ⑨ Give me some wine.
- ⑩ The wine I bought yesterday is a small Scotch.
- ⑪ Wine is made from the juice of the grapes.

1.21 thing-word について

上表でもわかるとおり thing-word の場合は個 (a piece) が単位であり、これが幾つか集って群 (group) をつくり、個または群が集って全 (総) 体 (whole) を構成する。従って definite number を数える場合には複数名詞の前に definite numeral をおき、indefinite number を数える場合には indefinite numeral—all, enough, any, some, many, (a) few, several, a lot (lots) of, a number (numbers) of, a great many, etc.) を冠すればよい。ただここで問題になるのは何等の determinative を持たない unlimited number の pl. である。(以下この種の pl. を 'plural without determinatives' の意味から "Bare Plural" と呼ぶことにする。)

1.22 bare plural について

例えば bare pl. の dogs は理論的には two dogs から an infinite number までの数を意味することになり数の混乱を来すおそれがあると考えられるかも知れないが実際問題としては日常生活には余り支障は起らない。というのは文法では bare pl. はその類全体を表わす generic plural の用法以外の規定が明記されていないが、かかる場合にはわれわれの常識や経験から生れた慣習により、またはその場の situation なり context なりによ

more; a lot (a large quantity, plenty, quantities) of, etc.—等を冠して部分の範囲を規定する。ここで問題になるのは bare pl. の場合と同様 bare singular (singular noun without determinative) の用法と numeral の用法である。

1.24 bare singular について

mass-word の bare sg. はその類全体を総称する場合の generic singular の用法の外に bare pl. の場合の如く時と場合によって伸縮自在な indefinite quantity を表わすことができる。

Lead is heavier than *iron*.
War costs *money*.
There is *water* in the well.

1.25 numeral と mass-word

mass は不定形であり、直接度量衡の対象にならないので countable の noun of measure を単位として計量し、それに numeral を冠して複数概念をもたせる。

a cup (two cups) of coffee
an article (several articles) of furniture
a piece (some pieces) of advice

2. 本試論における基本的態度について

本試論においては、英語の名詞の number を取扱うに際し次の如き基本的態度を明かにし、それに則って論議を進めて行くことにする。

2.1 Individually or collectively

ものを見方を Individually にするか Collectively にするかによって number の取扱い方が異ってくる。前者はものを単一体とみるに対し後者はこれを集合体とみる。例えば coat は an outer garment with sleeves, buttoned in the front で sg. 取扱いであるが、(a pair of) trousers は a two-legged outer garment for a man or a boy, reaching from the waist to the ankles で pl. 取扱いである。これは前者が両袖やボタンがついたりしているが、これを単一体とみるのに対し、後者は two-legs から組立てられている点を重視してこれを集合体とみて複数取扱いとしたのである。また人間の集団につ

いてみても同じ軍隊の意を表わすにも army (sg.) と troops (forces) (pl.) と単・複二様の取扱い方がある。前者は an organized body of men, trained and armed... というふうに an organized whole を意識しての表現であるのに対し、後者はそれを構成する要素に重点をおいての呼称である。

an army 50,000 strong; a 50,000 men army

find billets for the troops

use the armed forces

一般に collectively に考えられるものの代表はいわゆる collective noun であるが、これまた individually にみるか collectively にみるかによって collective sg. と collective pl. の両様の取扱い方があることは申すまでもないことである。

2.2 Partially or Totally (or Generally)

これはものを数量的に一個あるいは一部とみるか、または全体としてみるかという態度である。

(1) partially

A dog is running across the street.

He has very few friends.

Many dogs are tame but some (dogs) are wild.

(2) totally (or generally)

A dog is a faithful animal.

Dogs are faithful animals.

All dogs are animals but not all animals are dogs.

上例が示すとおり pl. 形が sg. 形より必ずしも数の優勢を示すものでないこと、また pl. 形は部分から全体にわたって用いられ、その包括範囲がきわめて広いことが気づく。

以上は mass-word の場合であるが次に mass-word の individualized pl. をあげてみる。

Truth is broader than truths.

Possession is nine truths of ten.

He has grey hair=He is gray-haired. (白髪)

He has gray hairs=(grizzled hair or his hair is streaked with grey). (白髪まじり)

There was not much indication } that the next few years would be peaceful.
There were not many indications{

The top of the mountain was covered with cloud.

The sun was hidden by clouds.

Physical exercises develop muscle. (=全筋肉)

When you walk you exercise your leg muscles. (=一部)

2.3 Formally or Attributively

ある物を外形的な形態 (form) で捉える態度と質的にその物質を構成する属性 (attributive) で捉える態度とがある。前者はある物の固有の形態を重視するがその大きさ、品質などは問題にしない。これに対して後者は逆に form や quantity を度外視してそのものがよって成立する本質的な属性に重点をおく。例えば table が table たる所以は a flat top と four legs とが一定の形に組立てられているところにあり、その大きさや材質などは問題ではない。これに反し iron はその本質たる hardness, weight, liability to rust などの attributes が問題であって、それによって構成されているものが針であろうと、ハンマーであろうとその形態は問題でない。

ものを形態的にみれば個数が問題となり単・複の概念が生れるし、これを質的にみれば量が問題となって number の概念は入ってこない。

2.4 Dynamically or Statically

あるものを動的 (dynamically) あるいは機能的 (functionally) に把握するかそれとも静的 (statically), 固定的 (stationarily) に把握するかによって、そのものの理解の仕方が異ってくる。本来生あるものは常に流動し変化する。また生なきものといえども、それをみるものの立場やそのときの感情如何によって決して同一のものとは限らない。名詞の場合も、これを word in rest のすがたとしてみるか、または a word in motion として捉えるかによって理解の仕方が異なってくる。次の文中の custom (customs) は一語だけ取出してみれば何れも同一であるが、しかしそれぞれの文中においての働きは同一ではない。

Don't be a slave to *custom*. (慣習)

We should very much like to have your *custom*. (引立て)

It was his *custom* to get up early and go for a walk before breakfast.

(習慣)

Social *customs* vary in different countries. (習慣)

The officials in the *customs* are very polite. (税関)

3. 複数名詞分類の基準

前項に述べた基本的態度に立脚して、以下複数名詞を分類するための基準と思われるものを検討してみよう。

3.1 基準の前提

基準を設定するに当たって、それらに共通した前提条件として次のものをあげる。

3.1.2 Normal Plural :

これは一定の形態をもって個々に存在する同種のもので、2個以上集合したいわゆる class noun の pl. 形について言われるものであって全ての thing-word に適用できるものである。

今 a book=a とすれば a book+a book=two books=2 a's の関係が成立ち、一般的に a+a+a...=n a's の関係が存在する場合についていう。なおこの場合 a は単独に個体として存在するものであることはもちろん、これが2個以上集って集団として存在する場合も、本質的には1個で存在する場合と全然変らない。いわば機械的算術的な集合である。

3.1.3 Bare Plural :

bare plural の意味と効用については前項で述べたので次にその用法を列挙する。

(1) generic plural :

Owls cannot see well in the daytime. *Walls* have ears. *Poets* are born, but *orators* are made.

(2) plural of indefinite number :

Here are *fruits* in season. Stop throwing *papers* about. I caught him stealing *apples* from my garden.

(3) idiomatic plural :

I heard him *giving orders*. I *made* great *preparations* for the feast. *Fair words* butter no parsnips.

(4) reciprocal plural :

We have got to *exchange trains* here. He *shook hands with* me. I *went shares with him* in the enterprise.

(5) contextual plural :

The two boys received *prizes*, one each. I have written *letters* to most

of my old pupils. We must choose *presents* for your brothers and sisters.

(6) plural of indefinite great number :

Days passed and yet he did not appear. It is *years* since I saw you last. For *miles* and *miles* there's nothing but desert.

3.2 以上のことに留意して以下複数名詞分類の基準を検討してみる。

3.21 Synthetic Plural (or Plural of Synthetic meaning) :

物理的には個々の存在をもっているが、現実にはそのものとして単独に使用されず、それらのものが幾つかが組合されて一つの結合体 (combination of separate parts, elements, substances, etc. into a whole or into a system) となって、初めて個体として使用される場合の複数形についていう。なおかかる場合にこれを Individually にみるか collectively にみるかによって二通りの取扱いができることは前述の通りである。即ち構成要素に重点をおけば複数取扱いとなり結合体に重点をおけば単数取扱いとなる。その何れをとるかはそれぞれの国民の言語習慣によって決まるものである。

いま trousers を例にとれば trousers はいうまでもなく2つの左右対象物によって組立てられるという一つの composite object である。この場合 a trouser は個体として単独に使用されていないから、個体として現実には存在しないものと考えてよい。実在するものは a two-legged outer garment for a man or boy, reaching from the waist to the ankles であり実体は一個である。ただ二つの部分から組立てられているにすぎない。従ってそこには、normal plural の場合の如く a trouser + a trouser = 2 a's, two trousers = 2 a's の如き数の関係は存在しない。その関係は normal pl. の場合の如く a book : two books = 1 : 2 の如き倍数関係ではなく a trouser : (two) trousers = part : whole の関係にある。すなわち a trousers は部品であり (a pair of) trousers は製品である。従ってこの場合の複数形は対等の存在をもった個々のものの集合体ではなく一つの結合体 (製品) の部分を構成する部品の集合体を意味するから trousers = a trouser × a trouser = a × a = a² の関係にあるということができよう。また実際の場合でも trousers の片方をいう場合も a trouser とはいわないで a leg of trousers, 両方なら the legs of trousers と呼んでいるが、これはこの辺の事情を物語るものである。

次に個数を数える場合でも a trousers, two trousers の如き normal pl. の計数は許されないので mass-word 並みに取扱い thing-word の noun of

measure を借用して a *pair* (two *pairs*) of trousers の如く取扱う。

以上 trousers の如く複数の parts が集って a complete whole を構成する場合の複数形を synthetic plural と呼ぶことにした。

次に若干同様な例をあげてみよう。

- (1) pair から成るもの
 - (a) trousers, breeches, suspenders などの衣類
 - (b) scissors, shears, compasses などの器具
 - (c) glasses, spectacles などの装身具
- (2) trio またはそれ以上の parts から成るもの：

三個以上の parts から組立てられているものの取扱いについては、英語には複数取扱いの usage がないように思われる。従ってこれを裏返しにしてみれば three parts 以上から成る composite object は通例 collective sg. として取り扱われていることを物語るものといっているであろう。例えば三つの脚から組立てられている三脚 (three-legged stool) は a tripod (sg.) であり tripods (pl.) や a trial of pods などとはいわれない。また階段も a step (stair) が幾つか組合さって構成されたものであるが、その構成要素に重点をおけば steps, stairs と pl. 形をとるか、一方組立てられた製品に主眼をおけば a staircase, a stepladder と sg. に取扱う。なお pl. 形のもの計数は noun of measure を借用して a flight (two flights) of stairs, a flight of 50 steps (stairs) などの表現を用いることは前例と同様である。

3.22 Couple Plural :

これは normal pl. と synthetic pl. の hybrid とも思われるもので一応個体として実在するが、実際に使用される場合には必ず couple を組む場合に用いられる複数形である。即ち単独に実在するという点では normal pl., しかし実際に用いられる場合には couple を組むという点では synthetic pl. に属する。事実この分類に属する shoes (boots), socks (stockings), groves などは normal pl. の場合と同様、辞典には sg. として register されているし、その用法も context によって sg., pl. 両様がある。これに対し synthetic pl. に属する名詞は常に pl. 形で辞典に list されているし、またその用法においても sg. 用法はみられない。

- | | |
|---|---|
| { | put on (take off) one's shoes; stand in another man's shoes |
| { | know where the shoe pinches; put the shoe on the right foot |

{ take off the gloves to somebody; handle somebody without gloves
 { fit like a glove; throw down the glove

またこの種のもの片方を呼ぶときも an odd glove (shoe, stocking) と normal pl. 並みに取扱われることも trousers の場合と異なる。しかし実際にそのものの存在目的を果す場合には pair として用いられるので計数の場合には synthetic pl. 同様 a pair (two pairs) of shoes の如き用法を用いる。なお次の Frankline の言葉に注意。

A single man resembles the odd half of a pair of scissors.

以上のことから考えさせられることはいったい何を一個とみるか、如何なる状態を一個の存在の条件と考えるかについては必ずしも客観的な基準がないのではないかということである。それらは何れもそれぞれの国民の speech habit によって決められるもので、それぞれの言語社会によって多少の相違が見られることは当然といわなければならない。複数の取扱いもその例外ではない。例えば英語では pantaloons は trousers なみに pl. であるが仏語では un pantalon (sg.) である。また英語の a pair of spectacles (scissors) は独語では eine Brill (Schere) で何れも sg. 取扱いである。

また英語自体の中においても moustache には a moustache と a pair of moustaches の両様の取り扱いがあってどちらか一方に決めかねるという有様である。

3.23 Comprehensive Plural :

名称は違いが種類の類似したもの (similar in kinds) が幾つかある場合にそれらのものを一括して総称するとき pl. 形を用ゆることがある。例えば武器と呼ばれるものには次の如く幾種類かのもがある。

fire-arms : rifle, gun, pistol, revolver

side-arms : sword, saber, dagger

small-arms : musket, rifle

その他 ax, club, bow, spear, etc.

これら全部を包含して総称する場合に arms と pl. 形をとる。このときの pl. は normal pl. の場合の如く arithemetical addition (na's) ではなく $a_1 + a_2 + a_3 \dots = a's$ の関係である。即ち arms = fire arms + side arms + small arms + all the other implements of war which are called weapons; kinds of weapons というべきものであろう。以上の如く類似のものを包括的に総称する場合の pl. 形を Comprehensive Plural と呼ぶことにする。

普通文法ではその類全体を総称する場合には generic sg. が generic pl. を用いるが、この場合には A dog (Dogs) is (are) faithful の如く同一語で種族を代表することができるが Comprehensive pl. の場合は、その種族を表わす語ではなく別の語が総称として用いられる。即ち arm という名称で呼ばれる単独の武器は存在しないで、名称はそれぞれ異なるが同一目的（武器として）に使用される種々の用具を包括する語として arms が用いられるにすぎない。従ってこの種の pl. 形は主として sg. 形を持たない Absolute Plural に属するものである。

以下若干その例をあげてみよう。(カッコ内は thing-word)

- (1) 衣類(料) : clothes (garments)
 夜具類 : bed-clothes (coverings)
 (毛) 織物 : fabrics (kinds of woven materials)
- (2) 食物(料) : edibles (things fit to be eaten), eatables, provisions
 飲物(料) : drinkables, spirits
 食飲料 : victuals
- (3) 青物野菜 : vegetables, greens
- (4) 穀物 : cereals, crops
- (5) 品物 : (canned) goods, commodities
 用品(具) : (writing) materials, colours, necessaries,
 (needs, necessities, luxuries, comforts), fire-irons
- (6) 諸道具 : (kitchen) things, (farming) utensiles,
 手廻り品 : goods and chattels, fittings, properties, appliances, personal
 belongings, valuables.

これらの名詞について数量を云々する場合には直接数量形容詞を冠して計数することはできないことは勿論で普通 mass-word 並みに noun of measure を借用する。

a piece of arms, an article of clothes

しかしこの場合この外に Comprehensive pl. に対応する Comprehensive sg. ともしうべき thing-word があって、単数の場合の共通的名称の役割を果たす。例えば gun, sword, rifle などの凡ての a piece of arms は weapon ということができる。またこの種の Comprehensive sg. の generic pl. は結局 Comprehensive pl. と同意義となる。即ち arms=implements of war, weapons である。また clothes と garment の関係も同様である。即ち an article of clothes=garment; clothes=garments

3.24 Generic Plural :

あるものの種属全体について云々する場合に every, all, any など全体を表わす形容詞の助けを借りないで名詞の pl. 形でそれを表わす場合についていう。この場合の pl. 形は normal pl. の如く、ものの数量についていうのではなくそのものに属するものなら如何なるものにも通ずる属性について云々する機能をもっている。この場合 sg. でも同様の機能を発揮することができるのはそのような事情によるものである。

A dog is faithful. Another dog is faithful. A third dog is faithful.
...All dogs are faithful.

次にその用法を述べる

(1) Unlimited-indefinite plural :

Dogs are faithful animals.

Be ye therefore wise as *serpents*, and harmless as *doves*.

(Matt. 10, 16)

なお次の語は常に pl. 形で用いられ漠然と一般的な事態を指す。

Things are going well now. That is how *matters* stand.

We cannot afford a holiday in the present state of *affairs*.

Times are good (bad) to make a living.

things Japanese (political, personal, real)

on *Sundays*

(2) Unlimited-definite plural :

The *owls* have large eyes and soft plumage.

なおこの場合 limited-definite plural (The *owls* singing in the tree have now flown away.) と同形であるが、context によって容易に判別することができる。

なお次例の如く常にこの形態をとるものもある。

the masses; the lower (higher, working) classes,

the authorities

(3) Adjective-derived plural noun :

(i) *woolens* (cf. *silks*), *valuables*, *vegetables*, *intellectuals*

(ii) 定冠詞または所有格を伴うもの : *one's letters* (*elders*, *equals*)
the ancients (*moderns*)

(iii) 定冠詞を伴った固有名詞 : 民族 : *the Japanese* ; 党派 *the Liberals* ; 宗派 *the Christians*

3.25 Absolute Plural :

sg. 形を持たず常に(または通常) pl. で用いられる名詞のことをいう。いわゆる Plurale tantum と呼ばれるもので normal pl. の如き数量概念を持たないものである。従って number の概念を表わす文法形式としての plural という語をこの種の名詞に適用することは当を得たことでないが、語尾に s があるという理由で従来からそういわれてきたものである。即ち語尾がたまたま s で終わっているにすぎないものであるから文法で取扱う事項ではなく、本来辞書の範囲に属するものとも考えられるが、しかしまた共通した現象もみられるので、次に類別できるものだけに限り若干例示してみよう。

(1) 意味内容によるもの :

- (a) sciences : economics, physics
- (b) diseases or derangements (physical or mental) : measles, mumps, rickets
- (c) parts of the body : bowels, entrails, guts
- (d) composite doings, actions, movements : manners, the proprieties, antics
- (e) amusements, recreations (sports and games) : billiards, bowls, draughts
- (f) instruments, tools : bellows, irons, blinkers
- (g) places, buildings, environments : quarters, premises, outskirts, barracks, lodgings
- (h) clothes, coverings : clothes, knickerbockers, overalls

(2) 品種の conversion によるもの :

- (a) adjective から : -able (drinkables, movables, valuables); -ibles (combustibles, edibles, inexpressibles); -al (annals, nuptials, victuals); -aries (extraordinaries, necessities); その他 minutes, news, rapids など
- (b) past participle から : bygoness
- (c) gerund から : surroundings, findings, shavings

(3) 固有名詞によるもの :

- (a) mountain ranges : the Alps
- (b) states : the Phillippines, the Netherlands
- (c) groups of islands : the West Indies, the British Isles
- (d) families : the Tudors

3.26 Differentiated Plural :

sg. 形にはない意味が pl. 形において附加される名詞がある。例えば compass という語は a mariner's compass を意味する場合の pl. 形は compasses であるが、この pl. 形にはまた sg. 形にない意味—an instrument for drawing circles, measuring distances on a map or chart—がある。この場合 sg. 形があるという点では absolute pl. と異っているが、しかし常に pl. で用いられ sg. 形とは別個の意味をもつという点では absolute pl. と共通する

英語名詞の複数形について

ものがある。かかる場合の pl. を differentiated pl. と呼ぶ。即ちある species の直系ではなく、それから分化した変種だというのである。計数する場合にも absolute pl. 同様に noun of measure を借用して a pair (two pairs) of compasses の如くいう。

以上は thing-word から分化した pl. の場合であるが、これには更に mass-word から分化した pl. もある。ただ thing-word の場合は sg. 形の意味に対応する normal pl. と分化した意味をもつ differentiated pl. と、それぞれ意味の違った二つの pl. 形があるのに対し mass-word の場合は本来 pl. 形を持たないから pl. 形はただ differentiated pl. のみである。

なおこの種の pl. は absolute pl. と同様、形は pl. であるが、それぞれ固有の意味と存在をもった独立語であるから、その取扱いは本来辞書の領域に属するものであるが以下説明のため若干のものを図示してみよう。

	sg.	normal pl.	differentiated pl.
thing-words	compass custom (habit) spectacle (sight)	compasses customs (habits) spectacles (sights)	compasses customs (revenue duties) spectacles (eye-glasses)
mass-words	gain (acquiring of wealth) effect (result) good (that which is good)		gains (what is gained) effects (goods) goods (property)

なおまた mass-word の場合にはそれに対応する pl. 形は考えられないが、mass-word が一旦 thing-word に転換しそれが pl. 形をとる場合が沢山ある。この場合には thing-word のときと同様二つのそれぞれ違った意味の pl. 形が併存することになる。

	sg.	normal pl.	differentiated pl.
mass-word	pain (bodily or mental pain)		pains (effort, trouble- take pains)
thing-word	pain (particular or loca- lized kind of bodily suffering—a pain in the knee)	pains (stomach pains— pains in the back)	

次例は mass-word から転換した thing-word の pl. 形が、ある特殊な意味に限定されて用いられた場合である。

provision (act of providing or supplying) provision (something provided)
provisions (supplies specifically of food)

次の circumstance は external factor relating to an act, attendant condition の意味では通例 pl. 形で用いられるが、financial condition の意味に限定されて用いられるときは必ず pl. 形をとる (in reduced circumstances)。

3.27 Idiomatic Plural :

thing-word がある種の collocation において必ず pl. 形をとる場合がある。この種の pl. 形をここで idiomatic pl. と呼ぶことにする。なお若干の combination においては sg. 形 pl. 形とも同様な意味で用いられていることがある。しかし仔細に検討してみると pl. 形には複数の概念が微妙に働いている場合が多い。

1. 常に pl. 形を用いる場合

(1) 冠詞を伴わないで : have clean hands, look daggers at a person, make mouths, take notes

(2) 定冠詞または所有格を伴って : go to the movies; turn the tables; split one's sides; take to one's heels

(3) 前置詞を伴って : in hopes of; from motives of

(4) and を伴って : pins and needles; mops and mows; fits and starts; They agree like cats and dogs.

2. sg. および pl. の両形を用いる場合 : in the depth of water(s); in the depth of winter, in the depths of despair; give the rain(s) to; close one's eyes to, have an eye to, keep an eye (one's eyes) out; turn a deaf ear to, pick up one's ears, have a person's ear(s), lend an ear (one's ears) to, give ear to

上例でもわかるとおり身体の部分で元来対をなしている器官についての用例が多くみられる。特に eye などは sg. と pl. とでそれぞれ意味の異なる場合と全然同じな場合、更に無冠詞で mass-word なみに用いられる場合などあってその用法は複雑である。そのうち概していえることは、sg. 形または無冠詞の場合は figuratively に用いられる場合が多いということである。

have a good ear for music; be sweet (harsh) to the ear; play something by ear

なお所有格を伴うと必ず pl. 形をとるのは当然である: clap one's hands; take to one's heels; up to one's eyes

また adj. を伴う場合は不定冠詞付きの sg. 形をとる。

give a horse to a *free rein* (give a horse the reins); keep a *tight rein* on; give a person a *black eye*

次例にあげた rein などは sg. pl. と冠詞、形容詞などの組合せがきわめて複雑で慣用句という以外説明がつかない。

give rein to, give reins to, give the reins to, give loose rein to

3. mass-word の場合も sg. pl. の両形がある。

make allowance(s) for; have good reason(s); be under repair(s)

次例は pl. 形が polite expression のために用いられたものである。

Please accept my *regrets* at having to refuse.

He refused with *many regrets*. (He refused with much regret.)

3.28 Intensive Plural :

言語活動における emphasis は自然の発動であり種々の手段が用いられている。先ず口語では強調しようとするところに強勢 (prominence や intensity) をおいたり、あるいは音調身振りなどによってその効果を達成する。また文語では inversion, repetition, intensive の使用など種々の手段を用いる。ここにあげた intensive plural の用法もその一例である。その意図するところはいわゆる強意語 (intensives 例えば huge, enormous, tremendous など) を用いないでその質量程度を高度に強調しようとするものである。従ってこの場合に用いられる名詞は、質量を表わす mass-word であり本来 pl. 形をとらないのが普通であるが、それを pl. 形にすることによってその数量の多いこと程度の高いことを表わそうとするもので、主として文語において用いられている。

なおこの用法は修辭的技巧が重んぜられた中世および近世初期の英語には比較的自由に広く用いられたが、現代英語ではその用法がかなり制限され詩以外には特殊の表現または成句に限られている。

(1) Plural abstract noun :

抽象名詞の pl. 形は Shakespeare や Milton 時代にはきわめて自由奔放に用いられ文学的效果を収めたが、現代では特殊の用例や phrase にその名残をとどめているにすぎない。主として程度の強大なことを表わす。

Desire not To allay my *rages* and *revenges* with your colder reasons.

(Coriol. v. iii, 85); While I at home sat full of *cares* and *fears*. (Milton);
I beseech you by the *mercies* of God. (Rom. 12, 1)

ここで注意すべきことは、現代では上述の如き抽象名詞の pl. 形は抽象名詞から転換してできた thing-word の pl. 形と外形上識別できないということである。

- { A sudden fear came over me.
 - { Grave *fears* are felt for the safety of the missing climbers.
 - { She sat there full of *cares* and *fears*.
 - { He has a terror of fire.
 - { This added to our *terrors*.
 - { a serpent that survived Once the *terrors* of his hoof
- (R. Hodgson, The Bull)
- { He is rich and free from *cares* (causes of sorrow and anxiety).
 - { She sat there full of *cares* and *fears*.

なお次例では sg. と pl. の間に殆んど意味の相違がみられない。

- { feel *apprehension* for a person's safety
- { be under some *apprehensions* about a matter

(2) Plural material noun :

ものの広がり、連続、集積などを表わすに用いられるがこれも現代では若干のものを除いては主として literary or poetical である。

(a) *snows* : a great deal of snow; the layer formed by snow—falls on the ground; an accumulation, mass, expanse or field of snow—降り積った雪、積雪、見渡す限りの雪野原、雪原 (a waste of snow)

When winter shuts the Seas and fleecy *Snows* make houses white. (Dryden) O'er Libya's deserts and through Zembla's *snows*. (Gray) The *snows* of that Mont Blanc which we saw together. Where are the *snows* of last year? The *Snows* of Kilimanjaro (E. Hemingway)

(b) *waters* : mass or body of water—漫々とたたえた水、一望洋々たる海原といった感じを与え一般に海、河、湖などそこにたたえられた水に主眼をおいての呼称で如何にも graphical な表現である。

(1) a vast waste of *waters*; harness the *waters* of the Niagara; The *waters* of the lake flow over a large waterfall. The *head-waters* of the Nile (the lake from which it flows); Still *waters* run deep. the *waters* of forgetfulness

(=Lethe)

(2) flowing water or water moving in waves : fish in the *troubled waters*; get into (be in) *hot waters*; pour oil in the *waters*

(3) seas as indicated by a preceding word : in *Japanese waters* (on the seas near Japan); in *eastern waters*; a ship for service in *Home waters* (on the seas near the country to which the ship belongs)

(4) set expressions : in *deep water(s)*; in *smooth water(s)*; cast (throw) one's bread upon the *waters*

(c) *sands* : 砂地, 砂原, 砂漠 (*sandy waste*)

(1) the accumulation of sand in a desert : the *sands* of the desert

(2) a stretch or expanse of sand (on the seashore or a desert), areas covered with sand : the *Sands* of Dee; play on the *sands*

(3) figurative use : The *sands* are running out. number *sands*; plough the *sand(s)*; footprints on the *sands* of life (Longfellow)

(d) その他 *wastes*, *depths*, *heights*, *heavens*, *skies*, *clouds*, *rains* (the *rains*) など。

なお Bible では今日 sg. 形で用いられる mass-word が広く pl. 形をとっている。おそらく pl. 形にすることによって崇高な威厳のある神聖な雰囲気を与えようとしたものであろう。次は詩篇からの引用である。

The *waters* saw thee, O god, The *waters* saw thee; they were afraid: The *depths* also were troubled. The *clouds* poured out water: The *skies* sent out a sound: (Psal., 77, 16, 17)

And thy path in the great *waters*, (ibid., 77, 19)

Praise ye the Lord from the *heavens*: Praise him in the *heights*. Praise him, ye *heavens* of *heavens*, And ye *waters* that be above the *heavens*. Praise the Lord from the earth, Ye dragons, and all *deeps*: Fire, and hail; snow, and *vapours*. (ibid., 148, 1~8)

なおこの用法に関連したことで数量の 老 大 であること—*infinitely large amount or number*—を強調する手段として pl. 形が用いられることがある。これは数量の絶大値の大なることよりも数量が非常に多大であるという感じを抱かせる強調的表現手段で対話の場合は当然音の強勢が加わるであろう。この用法には pl. 形の外に sg. 形もあり、時には更に *large*, *great* などの *intensive* を伴うこともある。

英語名詞の複数形について

(1) 数量名詞 :

a lot (lots) of people; a quantity (*large quantities*) of flowers; a sum (*large sums*) of money; a number (*numbers*) of birds
tens (scores, hundreds, thousands, tens of thousands) of people
tons of sugar; *acres of land*; *hours (years)* of study

(2) collectives :

crowds of people; *hosts* of difficulties; *shoals* of time; packs of troubles;
masses of treasure; *troops* of deer

(3) その他

mountains of potatoes; *seas* of troubles; *floods* of rain; *torrents* of missiles;
piles of money; *heaps* of stones, *volumes* of smoke

またこの種の pl 形が副詞 (句) として a great deal の意を表わす。

(1) 前置詞とともに

in (*large quantities*); in (*great numbers*); in *heaps*; It rained in *torrents*.

I got letters in *shoals*.

(2) 単独で

The waves were *mountains* high. The patient is *lots* better today.
She has been there *heaps* of times.

3.29 Plurals of Relations :

相手のある対他関係を表わすのに pl. 形を用いる。

(a) relations :

the friendly *relations* between my country and yours; I have broken off
all *relations* with him. He works in the Public *Relations* Section. He
is a public *relations* officer. He is chairman of the Senate Foreign *Re*
lations Committee.

(b) dealings :

I've always found him honest in his *dealings* with me.

I advise you to have no *dealings* with that fellow.

(c) terms :

be on good *terms* with somebody; meet somebody on equal *terms*;
on speaking (vising) *terms*

(d) friends :

be *friends* with somebody; make *friends* again

3.210 Plurals of sentiments :

種々複雑でデリケートな心情を表わすのに pl. 形が用いられる。

(a) affections :

the object of one's *affections*; gain somebody's *affections*; set one's *affections* on somebody

(b) sentiments :

What are your *sentiments* toward my sister ?

A statesman should be animated by lofty *sentiments*.

(c) feelings :

Have I hurt your *feelings*? The speaker appealed to the *feelings* of his audience rather than to their reason.

(d) emotions :

a man of strong *emotions*; suppress one's *emotions*; He appealed to our *emotions* rather to our reason.

(e) sensibilities :

Her *sensibilities* are quickly wounded.

(f) regrets :

Please accept my *regrets* at having to refuse.

(g) regards :

Please give my kind *regards* to your brother.

(h) ecstasies :

be in (go into, be thrown into) *ecstasies* over something

(i) raptures :

be in *raptures*; She went into *raptures* over the dresses they showed her.

3.211 Mass Plural (or Plural of Masses) :

非常に微細な存在であるため普通一個として取扱うことが困難なものがある。これらは常に集団として人間生活に関連をもつものであるからこれを pl. 形で表わすことがある。この種の複数名詞は非常に数が多いので次に若干のものを例示しよう。

(1) 残物: ものがあつた作用の結果として残つたもの—

(a) 燃えのこり (かす, から) : embers, cinders, ashes

(b) 残滓 (かす, おり) : dregs, lees, grounds

(c) 廃液 (かす, おり, 下水) : flocks, slops,

(2) くず類: flocks, crumbs, odds and ends

(3) ぼろ類: duds, rags, shreds

英語名詞の複数形について

- (4) 跡 : remains, ruins, relics
(5) その他 gerund が名詞化したもの
shavings, sweepings, sawings, filings, pickings, settlings, off-scourings,
など

3.212 Plural of Alterations :

by turns; ups and downs

3.213 Plural of Repetition :

take exercises; by fits and starts

3.214 Plural of Discontinuity :

by intervals; by snatches; by jerks

3.215 その他

なお上述の項目の外に従来の文法書で取扱われてきた項目を次に列挙する。

- | | |
|-------------------------|-------------------------------|
| 1. Apparent Plural | 13. True Plural |
| 2. Collective Plural | 14. Unchanged Plural |
| 3. Cumulate Plural | 15. Unification of Plural |
| 4. Distributive Plural | 16. Pl. of Abstract |
| 5. Double Plural | 17. Pl. of Approximation |
| 6. Foreign Plural | 18. Pl. of Association |
| 7. Individual Plural | 19. Pl. of Concord |
| 8. Invariable Plural | 20. Pl. of Majesty or Dignity |
| 9. Literary Plural | 21. Pl. of Modesty |
| 10. Numeral Plural | 22. Pl. of Reciprocity |
| 11. Permanent Plural | 23. Pl. of Social Inequality |
| 12. Substitution Plural | 24. Plurale tantum |

4. 複数名詞の分類

以上述べた基本的態度や基準に従って以下複数名詞の分類を試みた。但し Plurale tantum は除外。example は最小限にとどめる。

1. Non-Materials :

- (1) 慶(祝)賀, 挨拶, 敬意: congratulations, greetings, respects
(2) 感謝: thanks
(3) 好意, 尽力: good wishes, offices, services, pains

英語名詞の複数形について

- (4) 愛情: affections
- (5) 感情: feelings
- (6) 愛顧, 寵愛: good graces
- (7) 儀式(礼): nuptials, obsequies
- (8) 歓喜: raptures, rejoicings
- (9) 心配, 懸念: apprehensions, cares
- (10) 遺憾: regrets
- (11) 疑念, ためらい: misgivings, suspicions
- (12) 同情, 憐み: sympathies, mercies
- (13) 不興, 渋面, ふさぎ: sulks, dumps
- (14) そわそわ: fidgets
- (15) 悪口: invectives, personalities
- (16) 不和, 敵意: hostilities
- (17) 礼儀作法: decencies, proprieties
- (18) 外観, 容貌: features, lineaments
- (19) 気取り: affectations, airs
- (20) 未来の出来事, 見込み, 成算: futurities, prospects, chances, odds
- (21) 運(勢), 幸運, 不運, 逆境, 難局: fortunes, blessings, hardships, straits, difficulties
- (22) 手段: means, resources
- (23) 能力, 才能: abilities, capabilities, wits
- (24) 知(芸)能: attainments, accomplishments
- (25) 対人関係: relations, terms
- (26) 時代: days, times
- (27) 言葉: accents, words
- (28) 優勢, 平等, 不平等: odds, quits
- (29) 拘束: fetters, bonds, ties
- (30) 保護: auspices
- (31) 細目, 詳細: details, particulars
- (32) 大要: outlines
- (33) 指示, 命令: orders, instructions
- (34) 記録, 報告書, 書類: annals, minutes, papers
- (35) 特権: liberties
- (36) 当局: authorities
- (37) 手続き: proceedings, hustings

- ③⑧ 賠償: amends, reparations
- ③⑨ 証(根)拠: grounds, premises
- ④⑩ 裁判, 法廷: assizes, sessions
- ④⑪ 準備, 手配: arrangements, preparations
- ④⑫ 職(任)務: affairs, duties
- ④⑬ 事態(情): affairs, matters, things
- ④⑭ 文学: letters, classics, humanities
- ④⑮ 映画, 演芸: movies, theatricals
- ④⑯ 基本(礎) fundamentals, rudements
- ④⑰ 条件, 簡条: conditions, terms
- ④⑱ 方位(角): bearings, whereabouts
- ④⑲ 策略: devices, tricks
- ⑤① 功罪: deserts, demerits
- ⑤② 学名: ethics, mathematics
- ⑤③ 病名: measles, mumps
- ⑤④ 元氣: spirits, nerves
- ⑤⑤ 動作, 態度: movements, manners
- ⑤⑥ 運動競技, 遊技, 娯楽: billiards, cards, dominoes

2. Materials :

- (1) 食品(料, 物): victuals, provisions, sweets
- (2) 製品: goods, leads, plastics
- (3) 衣類: clothes, trousers
- (4) 身体の部分: bowels, brains, sinews
- (5) 残物(滓) 废物(液): dregs, embers, sweepings
- (6) 形跡, 遺物: relics, remains, ruins
- (7) 補給物: supplies, recruits
- (8) 軍旗, 紋章: colours, coat of arms
- (9) 道具, 器具, 備品: equipments, fittings
- (10) 施設, 設備, 装置: waterworks, footlights, controls, drains
- (11) 金錢(資金, 財産, 資産, 所得, 利益, 支出, 賃金, 税金等): means, assets, resources, riches, earnings, wages, customs
- (12) 動産: movables, effects, chattels
- (13) 場所, 建物, 宿舎, 境界, 郊外, 環境: premises, lodgings, bounds, boundaries, suburbs, environs, surroundings